



動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2023

<http://www.tc-iaip.org/dia/2023/>

開催日：2022年3月2日（木）～3月3日（金）

会場：宇都宮駅東口交流拠点施設ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)

DIA (Dynamic Image processing for real Application) ワークショップは、マシンビジョン/コンピュータビジョン分野における画像処理の実利用に関わる研究・開発の発表、討議、情報交換の場として、20年にわたり毎年日本各地で開催されてきました。2023年は、餃子の街、宇都宮で開催します。会場は、2022年11月にオープン予定の宇都宮駅東口交流拠点施設ライトキューブです。東京から東北新幹線で1時間弱ですが、日光、那須、益子といった観光名所に囲まれています。栃木県は、画像処理技術の実利用化には欠かせない光学関連の企業が多く集まっています。このような場所で画像処理の最新技術の情報交換に加え、実利用化の今後を考える有益な機会になるものと確信しております。産・官・学の研究者・技術者をはじめ、画像処理技術の実利用化に関心を持つ多くの方の積極的なご参加を期待しております。つきましては、

- ◆「インタラクティブセッション」：参加者と1対1での対話形式での発表
- ◆「オーラルセッション」：会場における口頭形式での発表
- ◆「機器デモ展示」：その場でシステムの動作の様子や効果をアピール



ライトキューブ宇都宮

について募集いたします。多数のご応募とご参加をお待ちしております。なお、若手研究者による優秀な発表には研究奨励賞を授与いたします。また、魅力的な特別講演、見学会を企画しております。どうぞご期待ください。COVID-19の感染拡大状況によっては、オンライン開催となる場合があります。



大谷資料館

スコープ：

- ◆ 画像応用システム (FA、セキュリティ、防災、ITS、農業、医療、環境等)
- ◆ 画像理解、物体認識、シーン解析、ロボットビジョン、三次元画像計測
- ◆ パターン認識、学習アルゴリズム、統計的手法、モデリング、進化型システム
- ◆ 画像照合、画像検索、映像分析、メディア理解、コンテンツ生成
- ◆ イメージセンサ、画像デバイス、画像処理プロセッサ、センサ統合、多波長センシング
- ◆ ヒューマン・マシン・インタラクション、VR、AR、MR、感性情報処理、情報提示

(※ 本スコープに限らず、画像処理技術の実利用化に関する幅広い分野の論文を募集しております。)

講演申込：2022年12月9日（金）

ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。ID取得後、2ページ程度の講演概要をご提出下さい。

原稿提出：2023年1月20日（金）

参加申込：ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。参加費は、精密工学会および協賛組織の会員の方は15,000円、その他一般の方は20,000円、学生の方は5,000円を予定しています。

主催：公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

共同企画：大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会（精密工学会）、非整備環境における知的センシング技術調査専門委員会、スマートビジョンの社会実装のためのAI技術協同研究委員会（電気学会）、パターン計測部会（計測自動制御学会）、製造工程検査部門（日本非破壊検査協会）

協賛：電気学会、計測自動制御学会、情報処理学会、日本ロボット学会、電子情報通信学会、エレクトロニクス実装学会、センシング技術応用研究会、日本電気制御機器工業会、日本非破壊検査協会、画像センシング技術研究会

実行委員会：大谷幸利（宇都宮大；委員長）、大沼 隼志（宇都宮大；副委員長）、小室 孝（埼玉大；幹事）、ネイザン・ヘーガン（宇都宮大；幹事）、篠田 一馬（宇都宮大；幹事）、浮田 浩行先生（徳島大；幹事補佐）山本裕紹（宇都宮大；顧問）

プログラム委員：渋谷 久恵（日立製作所；委員長）、清水 毅（山梨大；副委員長）、青木 広宙（千歳科学技術大；幹事）、金子 直史（青山大；幹事）、藤原 孝幸（北海道情報大；幹事）、森野 比佐夫（ファースト；幹事補佐）

問い合わせ：アドコム・メディア（株）内 画像応用技術専門委員会事務局 DIA2023 係（TEL：03-3367-0571、FAX：03-3368-1519、E-mail：iaip@adcom-media.co.jp）